

7月1日(木曜日)

雨でもできることを

【参加者:池本幸、池元美、越智宏、越智美、梶川、北、木谷、芝田香、杉、鈴木哲、鈴木明、中 12名】



雨の降る中、12名のモリメイトが集まった。

雨はやみそうにないので、初めに、「モリメイト通信6月号」の内容の検討、誤字脱字、文章表記の間違いなどを正した。同時に作業の反省、今後の活動内容についても意見を出し合った。こうして検討したモリメイト通信は、モリメイトの活動を広く知ってもらうため、森林公園ホームページのモリメイトコーナーに掲載してもらっている。

この後、女性陣は、「三重県上野森林公園

園の樹木」という冊子を参考に木の名札を作った。板に白のペンキを塗り、乾くのを待って、麻紐を付け、名前を書き込んでいった。男性陣は、刈払い機の刃の研磨を行った。



7月8日(木曜日)

雨のため活動中止

7月15日(木曜日)

モリメイトフィールド周辺の草刈りとヒガンバナの球根の選別

【参加者:越智宏、越智美、梶川、北、木谷、芝田香、芝田美、杉、鈴木哲、鈴木明、中 計11名】

天気は回復に向かうという予報であったが、雨は降り続いていたのでモリメイト会議を先にすることにした。第7回「くぬぎの森づくり」三重県緑化推進協会の助成事業が決まったので実施に向けて、手順書、予定地、備品の購入、苗木の状況などを確認し合った。

午後、梅雨明けを思わせるような暑い日差しが照りつける中、男性陣はモリメイトフィールド周辺、クヌギの植樹地の草刈りを行った。女性陣は梶川さんが持ってきてくれた彼岸花の球根を綺麗にし、一部をモリメイト花壇に植えた。残りは湿生植物園の斜面上の道沿いに植える予定。



7月22日(木曜日) モリメイトフィールド周辺の整備

【参加者:池本幸、池本美、梶川、芝田香、芝田美、杉、鈴木哲、鈴木明

計8名】



今日の伊賀市は、気温35度を超える猛暑日になるという予報であった。日陰を選んで作業をすること、水分をしっかりとること、コロナ禍でマスクをつけての作業であるが周りに人がいない場合などはマスクを取ることを確認して作業に取りかかった。

男性陣は、刈払い機でモリメイトフィールド周辺の草刈り。

女性陣は、刈払い機で切り残した小川の岸周辺の草を鎌で刈り、川の流れをよくするために川底をさらい、川に落ちた草や落ち葉を取るなどの作業を行った。

7月29日(木曜日) ヒガンバナの球根を植える

【参加者:越智宏、越智美、梶川、木谷、芝田香、芝田美、鈴木哲、鈴木明、中

9名】

公園事務所からの依頼で湿生植物園上の遊歩道沿いに事務所の渡辺さんと一緒にヒガンバナとスイセンの球根を植える作業を行った。

伸びた芝を刈って
いきますよ



道沿いに真っ赤な
ヒガンバナ。
咲いたら 綺麗でしょうね



芝を切って上に
あげ、穴を掘る
といいですね。

ヒガンバナとスイ
センの球根を植
えていきます。



午後からは、いつものようにモリメイトフィールド周辺の整備。

男性陣は、それぞれの場所に別かれ、刈払い機で草刈り。女性陣は、休憩場所になっている目の前の朽ちた木が積み上げられている場所をきれいにすることにした。木を取り除き、湿地のぬかるんだ所に運んでいった。すると、ゴムホースが下の方から顔を出しびっくり。ビジターコテージまで持って帰り、処分することにした。草を刈り、ならしていくとすっきりとした広場になった。休憩場所がより居心地のいい場所になり、弁当も美味しくなることと思う。

